

事業費補助金調査票(表)

補助金名	栽培漁業振興総合対策事業補助金
------	-----------------

担当課	経済部 農政課				
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業
	01	06	01	02	30 - 05
事業名	栽培漁業振興総合対策事業				
新規・継続の別	継続				
補助・単独の別	県補				
補助の種類	事業				

R5実施計画額	921	千円
R4 予算額	921	千円
R3 決算額	819	千円
R2 決算額	813	千円
R1 決算額	863	千円
H30 決算額	1,043	千円
H29 決算額	1,121	千円

事業の趣旨・目的	内水面漁業の生産性の向上並びに漁民所得の増大を図るため、漁業協同組合等が実施する栽培漁業振興対策事業に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助対象者・経費・補助率	【補助対象者】 ・本放流事業を実施する組合等			
開始年度	平成 16 年度		【補助対象経費】 ・水産振興に関する事業に要する経費			
根拠法令等	(市) 成田市水産振興事業補助金交付要領 (県) 千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金交付要綱		【補助率】 県補助+市補助>事業費の1/3			
留意事項	成田市水産振興事業補助金交付要領の改正を検討中		【国県等の補助率】 県: 補助対象経費の1/3以内			
決算内訳	令和 3 年度決算額等 (単位:千円)			成果指標	【近隣自治体の補助率】 ・酒々井町: 135千円(定額上乘せ補助)	
		金額	件数		割合	(単位:t)
	全体事業費	2,457	/		/	
	うち市補助金	163	1		6.6%	
	うち国補助	0	/		0.0%	
	うち県補助	656	/		26.7%	
自己負担	1,638	/	66.7%			
				成果指標: 放流量		

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興, 雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	成田市総合計画の基本目標に掲げる、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	印旛沼における漁獲量減少が懸念されている現在、種苗放流事業を行い、漁獲量の増大を図ることは、本市の水産業の振興に寄与する。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	特定財源控除後の補助率は1/2以下である	はい	印旛沼の水質の悪化により、魚の自然生育が難しく、漁獲量の減少を招いている。この状況を打開するため、今後も補助率を維持して事業を継続することで、漁獲量の維持増大による水産業の活性化を図る必要がある。
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	高い	
明確性	個別の規則が整備されている	いいえ	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	はい	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	はい	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	はい	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	放流量 R1:2.0t R2:2.0t R3:2.0t
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	不安定な漁業を支える本放流事業に補助をすることは水産振興事業として有効である。
補助対象外経費	成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でないと認められる経費	はい	
最終評価	維持継続		
所見	印旛沼・利根川における水質は悪く、県内における淡水魚の漁獲量も減少しており、自然産卵による増殖が非常に困難な状況にあるため、本事業による漁業資源の確保が必要である。豊かな水産業を育むことは、成田市総合計画の基本目標に掲げる「元気な農林水産業を育むまちづくり」とも合致しており、今後も継続して補助事業を実施する。		